<H17-4-A：解答>

水平距離測定誤差（0.3m）に高さの測定誤差（0.1m）の影響を合わせると最大誤差になる。
一様に ８° の傾斜地なので、次式のようになる。
0.3m ＋（ 0.1m ・ 57° /8° ）＝ 0.3m ＋ 0.7m ＝ 1.0m　縮尺 1/1000 なので **1.0mm**

解答：２

<H17-4-B：解答>

ア　：**正しい**。対象区域が広く修正項目が多いときには有利。
イ　：間違い。TS によるときは、広範囲で詳細な内容の修正に適している。
ウ　：**正しい**。平板測量によるときは、局所的な修正に適している。
エ　：間違い。既成図には、より大きな縮尺のものを使うべき。

よって、正しいものの組合せは、１ の 「ア，ウ」である。

解答：１

<H17-4-C：解答>

最短距離ルートを選定するためには、「長さの要素」と、「向き」、「連結情報」が必要となる。
すると名称や住所道路管理者などは不要だとわかり、座標（ア，オ）、接続状況（ウ）、ノード番号（カ）などが必要だとわかる。

よって、正しいものの組合せは １の「ア，ウ，オ，カ」である。
図はノード・アーク等の用語説明のために存在している。→午後試験への準備にもなっている。

解答：１

<H17-4-D：解答>

ア．**正しい**。格子間隔を小さくすると、より詳細に表現できる。
イ．**正しい**。数値標高モデルと鉛直写真から正射写真作成が可能。
ウ．間違い。アナログ航空カメラによる撮影でも可能。
エ．**正しい**。等高線を忠実にトレースできないので、元の等高線よりも精度が低い。
オ．間違い。離散データでも画像化することは可能である。

よって、正しいものの組合せは　５の「ア，イ，エ」である。

解答：５

© Sey　Q’xara＆© Matsubara.P.O